

畑野町の人口 (12月1日調べ)  
人口 1808人 男 902人  
女 906人  
世帯数 970世帯

# はたの

令和4年 1月15日 発行  
第549号 / 畑野町自治会



TEL/FAX (0771) 28-2752  
Email: jichi-hatano@nike.eonet.ne.jp  
http://www.hatano.kameoka-city.org/

## 明けまして おめでとーございませう

令和四年の新春をご家族お揃いでお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により何かと我慢の多い一年でありました。とりわけ第五波と言われた夏から秋にかけては、亀岡でも異常な感染拡大があつて、本当に憂慮すべき状況でありました。秋頃からは、ワクチン接種の効果もあつて、感染者数が落ち着きを見せていきましたが、新たな変異株（オミクロン株）の急拡大もあつて、まだまだ予断を許さない状況が続いています。



引き続き感染予防の徹底をお願いします。さて、今年の干支は『壬寅（みずのえとら）』の年。「壬（みずのえ）は妊（にん）に通じ、陽気を下に妊（はら）む。寅（とら）はミミズに通じ、春の草木が生ずる」という意味があるようです。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。

新型コロナウイルスでダメージを受けた社会や生活を克服して、再起・飛躍する年にしたいですね。寅は、古くから密林の王者、強いものとして登場する動物です。また十二支の中で最も金運が強いのが寅とも言われています。

昨年の一年を象徴する漢字が「金」でした。今年が、皆さまにとって、寅年にあやかっつて、再起・飛躍する年に、そしてゴールドに光り輝く年であつて欲しいと願っています。引き続き町民の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまが幸多き年となりますようご祈念申し上げます。

令和四年 正月

畑野町自治会 役員一同

## コロナワクチンの三回目接種が始まります

新型コロナウイルスワクチンを二回接種した場合でも、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。このため、国の方針に基づき亀岡市においても、感染拡大防止と重症化予防の観点から、ワクチンの効果を維持するための追加接種（三回目接種）が実施されています。

一回の接種を完了した人に対して、八カ月以降から、順次追加接種が受けられるよう、段階的に追加接種用の接種券が発送されてきます。

二回目接種の開始日は、一人一人異なりますが、ワクチン接種をするかどうかは、ご本人の意思になります。

なお、接種場所・予約方法などにつきましては、接種券送付時の案内でご確認ください。



## 畑野分団消防出初式を挙りました

一月九日早朝から、畑野小学校グラウンドにおいて畑野分団の消防出初式が挙行されました。

自主防災会役員や消防まとい会の役員が見守る中、「コロナ禍にあつて訓練が出来ていない状況にあるが、消防人としての自覚と健康管理に留意して町民の安全・安心に精進していく」との力強い訓示が、朝の凍てつきをも忘させる緊張感を漂わせて、防火・防災への決意を新たにしました。

今年が、災害・火災の無い一年であることを願っています。



## 学校規模適正化ブロック協議会を開催

西部地区にある小中学校の規模適正化方策や就学環境について考えていく「学校規模適正化育親中学校ブロック協議会」が設置され、十二月二十日、第一回会議が開催されました。

各学校とも共通して、児童生徒が増える見込みがなく、既に畑野小学校では昨年からの複式学級が始まっており、他校でも二年後には複式学級が始まっていく見通しにありませう。

特に、小学校児童期は、成長過程の中で多様な集団活動を経験するときにあつて、集団の中の学びや体験が必要とされていますが、少人数の現環境下では限界があつて、適正な教育環境にあるとは捉えにくい状況にあります。

我がまちの将来を担ってくれる児童生徒たちが、学校での様々な活動を通して健やかに成長していくための学習環境・学校づくりは喫緊の課題であり、我々大人たちの責任でもあるとの考えから、西部地区四町の自治会長が連名で、学校環境の改善の要望を、亀岡市長及び亀岡市教育長に行ないました。

それを受けて、ブロック協議会が設置・開催されたのですが、協議会は、西部地区の自治会長、各学校のPTA会長及び学校長、地元市議会議員に教育委員会職員を加えた十五名で構成。今回の会議では、小規模校での教育上・学校運営上の課題を再確認して、児童生徒数が更に減少していく状況を放置しておくことはよろしくないとの考えで一致し、具体方策を教育委員会から提案願うこととしました。

今後、教育委員会から提案された方策に対して協議会が中心になって協議・検討を進めていくこととなりますが、その過程で、広く保護者の皆さんや町民の皆さんからも意見を伺う場が設けられると思っておりますので、町民の皆さんも一緒に考えていただきますようお願いいたします。